

旅するはらっぱの椅子

&
Tabi-suru Harappa no Ichi & Jappuri-isei



藝大食堂前のはらっぱにある桐と榎の木でできた丸太の椅子たちは、東京藝術大学取手校地で2019年度に始まった耕すプロジェクトの環境整備活動のなかで生まれました。食堂にきた人がのんびり日向ぼっこしたり、ヤギの遊具にもなったりしてきた丸太の椅子を、それを運べる「木の作品」ともに取手市内を旅します。集まったみなさんで椅子を運んで、よきところを密を避けつつ話もしましょう。TAPの2020年々々2021年に向けた各試みがわかる紙芝居も持参します。

みんなで丸太の椅子と一緒にピクニックしよう！

参加予約制(各回定員15名)

ご参加希望日・ご参加人数・時間帯をご登録ください。



はらっぱ運搬ツール

「まるたの足」



制作者より

「丸太の椅子にどこでも座れる、誰でも運べる道具作り」を考えました。歴史の中で役割を終えた木の車輪を見つめることや、木の道具の持ちやすさ、使いやすさの魅力を感じて楽しんでもらえるように試みました。柔らかい感触と軽さ、耐久性の高さから杉の赤身を使用しました。」

ツール検討のためのマケット▲

めじろ押し
NO.

ART LIVES TORIDE

日時 2021年3月14日(日) 11:00-12:30
会場 取手ウェルネスプラザ 屋外広場 & セミナールームA/B

学びの場とアート

日時 2021年3月21日(日) 14:00-15:30
会場 利根川河川敷 広場

Artist's Profile

ツール制作アーティスト



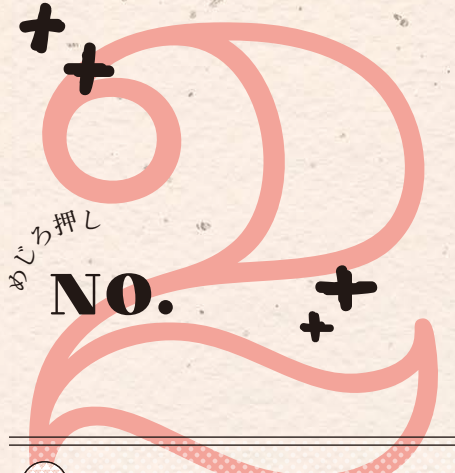
菌部 秀徳
SONOBE Hidenori

茨城県生まれ。木工家。教育者。現代社会における木の造形と教育を研究している。自然素材の手仕事から生まれる物やその技法に注目して、持続の可能性を探り現代社会の中で位置付けを行う。東京藝術大学工芸科講師(木工)。



姫 秋子
JI Qiuzi

1990年中国宁夏回族自治区生まれ。北京で中国伝媒大学アートデザイン専攻を卒業。東京藝術大学大学院工芸専攻木工研究室在籍中。木材造形および木工の技法材料研究。作品は単純に造形物ではなく、人と造形物のインターアクション/対話を考えています。



2021年3月19日(金) - 31日(水)
平日10:00-21:00 土日祝10:00-20:00
会場 たいけん美しゅつ場 としょじつ (JR取手駅直結・アトレ取手4F) **入場無料**



いつもは取手東小の図書室でだけ読める、みんなでつくるマンガ「リカちゃんハウスちゃん」を飛び出して、取手市内の小中学校へ送られた「みんなどううしてた？」のおたより、取手で暮らすみんなの日常が垣間見られるお返事が届きました。最近の生活やオリジナルのキャラクター、リカちゃんの進路相談まで、おたよりのやりとりと作家からの返事をあわせてご紹介します。その場でリカちゃんハウスちゃんへのおたよりに書く/描くこともできますよ。

Artist's Profile

宮田篤 + 笹萌恵
MIYATA ATSUSHI + SASA MOE

2009年より活動をはじめ。2011年より取手アートプロジェクト(アートのある団地)パートナーアーティスト。お話の続きを地域住民と相談する連載マンガなど、「仕組みや仕掛け」によって生じる他者とのイメージのズレや重なりを作品のきっかけにしている。主な活動に「アーティスト・イン・ミュージアム宮田篤+笹萌恵 meets 岐阜県図書館(岐阜県図書館/岐阜県美術館、2019)」「セカンド・フラッシュ(岐阜県美術館、2019)」など。1984年愛知県生まれ。2009年愛知県立芸術大学大学院美術研究科美術専攻修了(宮田)。1986年東京都生まれ。2010年東京藝術大学音楽学部音楽環境創造科卒業(笹)。



たっぷりい/丸太椅子/木片置き 撮影/藤田マコト



RIKA-CHAN HOUSE-CHAN'S
BUN-TSU STATION

for participant

すべての企画のご参加にあたって

- 未就学児/身体的に負担が大きい方を除いて、マスクを着用の上ご来場ください。ぜひ、お気に入りのマスクを着けてきてください。
- 熱のある方/体調不良の方のご参加はご遠慮ください。
- 手指のアルコール消毒を準備しています。ご利用のご協力をお願いいたします。
- 適度な距離の確保にご協力ください。
- 展示企画につきましては、混雑した場合は入場制限をさせていただく場合がございます。
- 会場にある「いばらきアマビエちゃん」システムにご登録ください。
- 社会状況等の変化により、開催見送り・内容変更の判断をする場合がございます。最新情報は取手アートプロジェクトウェブサイトにてご案内するとともに、参加ご予約の方にご連絡をいたします。

ウィークエンド藝大食堂2020 公募プログラム 成果報告展

透視ライド IN 取手市

TO-SHI RIDE in TORIDE-SHI 観覧無料



何の因果か取手市にある東京藝大に通うことになった青年2人。見聞を広めるため取手市を駆けまわろうと、風景の透視能力を手に入れていた。いつもは入らないところに入ってみたりとか、昔の記憶をひもといってみたりとか……そんな2人の旅は透視ライドとなった。これがその旅の記録である。

会期・会場

- 2021年3月11日(木) - 16日(火)
藤代駅ギャラリーロード(南北スペース)
- 2021年3月18日(木) - 30日(火)
取手駅ギャラリーロード(東西スペース)

巡回します!



ウィークエンド藝大食堂 公募プログラムとは

「このプランの審査は世界中が不安かになりどうかしていた頃だったね。希望の回路を見つけたくて、定期的な対話を通して伴走するにふさわしい若い作家を見つけようと思ったね。この二人はなにか生み出してくれるはずだ。」 — 小沢剛

「制作や思考の変更を余儀なくされた1年間、柔軟に発想を変化してきた2人の姿を見ていてとても心強かった。藝大を飛び出して取手市をまるごとスタジオにした成果に期待大です!」 — 毛利悠子

藝大食堂が開いたことでTAPとぐっと近い存在になった取手校地で学ぶ藝大生。彼らと「多様な参加者をつくる創造的活動」を試みようとした学内限定公募です。公募期間中に新型コロナウイルス感染症の拡大により拠点が一旦クローズ。その中でオンラインでの対話を重ねてきました。本企画は、拠点から市内へ飛び出し、彼らが集めた視点の成果展です。

伴走者: 小沢剛(美術家・東京藝術大学先端芸術表現科教授)、毛利悠子(美術家・同グローバルアートプラクティス専攻専任講師)、羽原康恵(TAP事務局長) 企画サポート: 西山京花、中嶋希実

会期中にラジオ ON AIR! タイムスケジュールやこれまでのログはこちらから▶



田中ジョン直人
Tanaka John Nozoe

東京藝術大学大学院GAP専攻修士2年在籍。大学院で取手に来て以来、なぜこの土地に東京藝大のキャンパスがあるのか、その意味ばかりずっと考えています。文獻から得た知識、それも沢山あるのですが、カフェで隣になった人の方から、遠く昔に建てられた石碑から、ネットの匿名掲示板の噂から……いろいろ、取手に学ばせてもらっています。まだまだ、教えてくださいな。 photo:加藤雄里



荒川弘憲
Arakawa Koken

東京藝術大学先端芸術表現科4年在籍。取手に住み始めて2年ほどたちました。お金をかせぐために都内になるような生活ではなく、住んでる場所からあまり離れることなく経済をつくれなにかと思っています。つまり取手近辺でいろいろな仕事や手伝いをしてみたいの。いろいろいな技術を学んで、生きる方法のパリエーションを増やしたいと考えています。 web: arakawakoken.net

EVENT

透視ライド + 取手のアートポイント体験ミッション

密を避けて透視ライド+取手のアートを体験できる限定企画。参加者の方のみにチェックポイントツールをお渡ししますので、ぜひご自分のリズムでコンプリートしてください。

チェックイン受付日時

2021年3月14日(日) 13:00-15:00

集合場所

取手ウェルネスプラザ セミナールーム A/B

参加人数 50名 先着順・満員次第受付終了

2021年3月1日(月)

10時より受付開始! フォームに必要事項を記入の上お申し込みください。



参加費(資料代)

一般1,500円・高校生以下500円

参加人数

50名 先着順・満員次第受付終了



SPRING 2021

TAP

Toride Art Project

取手の各所にTAPめじろ押し春。

企画の量は 密でもいいよね号

取手アートプロジェクト

いつもは市内の各拠点でみなさんをお迎えしているTAPですが、コロナ禍を経たこの春は、こちらからみなさんに会いに出かけます。どこかで言葉を交わせたら、と期待を込めての3プログラム、ぜひご参加ください。

- 1** 11月 木 16時 & 18時 30分 火
 - 2** 19日 金 31日 水
 - 3** 14日 日 & 21日 日
- 展示「透視ライドIN取手市」
取手駅と藤代駅ギャラリーロードに登場！
マンガ「リカちゃんハウスちゃん」
文通ステーション、VIVAに開設！
はらっぱの丸太を運んでみませんか？
オープンエア・たっぷり開催！

取手アートプロジェクトの 現在地

アートへの接点が社会インフラになることを目指して市内の各拠点を開き、活動を継続しています。

藝大食堂

アートセンター実践
#アートセンター実践
#半農半芸 #中間支援
2017年～

TAPが2001年から取り組む「半農半芸」をベースに、食をすることをつくることを支える場所としてオープン。2020年10月からランチの値段をつけるのをやる試みをはじめました。12月から取手校地のヤギを芸術家や地域の方と一緒に育てています。



TAKASU HOUSE

半農半芸
2014年～

取手市高須地域・小貝川のすぐそばの元農協事務所の建物セルフリノベート。若手芸術家支援（アーティスト・イン・レジデンス）の拠点やひだまりマルシェなど地域連携企画の場として運営しています。



いこいの+TAPPING

アートのある団地
2011年～

取手井野団地の真ん中にある空き店舗を利用したコミュニティカフェ兼プロジェクト拠点。取手井野団地自治会・取手地区民生委員・NPO法人取手アートプロジェクトオフィスが「お休み処」事業として取手市高齢福祉課と連携し共同運営しています。



たいけん美じゅつ場(VIVA)

#アートセンター実践
#中間支援
2019年～

取手駅直結のアトレ取手4階にある文化交流拠点。入れる蔵庫「藝大オープンカーイブ」、市営「とりでアートギャラリー」、ほか工作室や広場があり、アートコミュニケーション「トリバア」が活動しています。取手市、東京藝術大学、JR東日本東京支社、株式会社アトレの連携事業です。



2020年

2月 ▶TAP20周年記念「あしたの郊外ショールーム」&「スナックすみこ」ぎりぎり対面で開催

3月 ▼各拠点が緊急事態宣言を受けてクローズ、ウィークエンド藝大食堂すし日中止
▼たいけん美じゅつ場第1期アート・コミュニケーション募集面接はオンラインに
▼藝大食堂横に小さい畑を地域のお父さんたちが作ってくれる

4月 ▼藝大食堂横の宿泊施設利用
根川荘管理運営引き継ぐ、宿泊は受け入れ停止

2020年度 COVID19 リアクションのログ (抜粋)

2020 COVID-19 Reaction

6月 ▼たいけん美じゅつ場、いこいの+TAPPING、新型コロナウイルス感染症対策のもと再開
▼ウィークエンド藝大食堂公募プログラムオンライン定例化・キックオフ

5月 ▼オンライン会議で市内芸術家に向けた支援対策の企画が決まる
▼広報紙「あしたの郊外」Vol.5 藝大食堂特集はWEBにて先行公開、紙媒体配布は延期
▼ヤギのための野外環境整備活動サポートはじまる

7月 ▼藝大食堂 学内向けショップのみ再開、LINE公式アカウントスタート（フィードロスを避けるためバンを予約制）
▼NPO理事会総会、TAP実行委員会にて今期のキーワード「小さく会う」「しぼりとく集まる」「出会い直す」「新たにつながる」が決定
▼取手市アート創作拠点オンライン公開事業参加アーティスト公募

8月 ▼毎夏のワークショッププログラム「とりでアートの日。」オンライン化

9月 ▼月末に子ヤギ生まれるとの報が入る、受け入れ準備急遽加速

10月 ▼藝大食堂、8ヶ月のお休みを経て再開、食堂側が値段をつけるのをやる実験開始
▼放課後子どもクラブ芸術家パートナーシップ制度事業参加アーティスト公募
▼みのりランチ月報創刊、以降毎月発行
▼チーム「ヤギの目」発足、TAPも参画

2021年

12月 ▶ひだまりのひマルシェ中止、パフォーマンス撮影と取材に変更
▶藝大取手校地にヤギ、えひめとむぎ到着



11月 ▶リカちゃんハウスちゃん臨時増刊号「みんなどうしてた？」発行、市内公立小中学校に配布
▶市内放課後子どもクラブへのアーティスト派遣開始

12月 ▶次年度に向けた企画ミーティング
▶トリバア第2期、VIVA AWARD公募

3月 To be continued...
企画めじろ押し!

主催=取手アートプロジェクト実行委員会(取手市、東京藝術大学、アート取手、取手市教育委員会、取手市商工会、財団法人取手市文化事業団、一般社団法人茨城南青年会議所、取手美術作家展、特定非営利活動法人取手アートプロジェクトオフィス) 協賛=株式会社安井建築設計事務所/取手ロータリークラブ/前田建設工業 ICI 総合センター 協力=アトレ取手 編集=幅谷真理 デザイン=山下絵理 助成=文化庁 令和2年度 文化芸術創造拠点形成事業/自治総合センター 令和2年度 地域の芸術環境づくり助成事業

取手アートプロジェクト (TAP=Toride Art Project)は、1999年より市民と取手市、東京藝術大学の三者が共同でおこなっているアートプロジェクトです。芸術による文化都市を目指す取手のまちをフィールドとして、アーティストの活動支援と、市民の芸術体験・創造活動の仕組みづくりにより、芸術表現を通じた新しい価値観の創造を目指して活動しています。

お問い合わせ=取手アートプロジェクト実施本部(事務局 特定非営利活動法人取手アートプロジェクトオフィス) 〒302-0001 茨城県取手市小文間5000 東京藝術大学取手校地福祉施設 藝大食堂2F TEL: 0297-84-1874 (火・金 13:00-17:00) FAX: 0297-84-1875 MAIL: tap-info@toride-ap.gr.jp WEB: https://toride-ap.gr.jp/ @toride_ap toride.ap

取手アートプロジェクト (TAP=Toride Art Project)は、1999年より市民と取手市、東京藝術大学の三者が共同でおこなっているアートプロジェクトです。芸術による文化都市を目指す取手のまちをフィールドとして、アーティストの活動支援と、市民の芸術体験・創造活動の仕組みづくりにより、芸術表現を通じた新しい価値観の創造を目指して活動しています。